

「ながさきスポーツビジョン(2016-2020)」の策定にあたって

【1 ビジョン策定の趣旨】

本県はこれまで、平成22年度に策定した「ながさきスポーツビジョン(2011-2015)」に基づき、平成23年度から「スポーツを通じた人づくり・地域づくりの推進」を目指して、生涯スポーツ、スポーツツーリズム、学校体育、競技スポーツ等の各分野でスポーツ振興の施策を展開してきました。

また、平成26年秋には「長崎がんばらんば国体」及び「長崎がんばらんば大会」を開催し、競技力の向上やスポーツ施設の充実、大会運営のノウハウなど様々な成果を得るとともに、県民のスポーツに対する機運も高まりました。

一方、国においては、平成23年8月、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」とした「スポーツ基本法」が施行され、平成24年3月には、「スポーツ基本計画」が策定されました。

また、平成25年9月には2020東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、平成27年10月の「スポーツ庁」設置とスポーツ立国に向けた動きが加速しているところです。

そのような動きのなか、現計画「ながさきスポーツビジョン(2011-2015)」の計画期間が、平成27年度で終了することから、国の「スポーツ基本計画」の理念と国体・大会後の本県のスポーツ推進策に係る長崎県スポーツ推進審議会からの答申を踏まえ、本県の総合的なスポーツ推進の施策の方向や目標を示した「ながさきスポーツビジョン(2016-2020)」を策定しました。

【2 ビジョンの位置づけ】

本ビジョンは、スポーツ基本法第10条第1項に定める、国のスポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものと規定された「地方スポーツ推進計画」であるとともに、県政運営の指針となる「長崎県総合計画」及び本県教育の基本的方針を示す「長崎県教育振興基本計画」の下部計画に位置づけられるものです。

【3 ビジョン策定年度】

平成27年度

【4 ビジョンの計画期間】

このビジョンは、平成28年度(2016年)を初年度とし、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年度(2020年)までの5年間を計画期間としています。

I “スポーツ” の捉え方と意義

1. スポーツの捉え方

【一般的な「(「する」) スポーツ」の定義】

「(「する」) スポーツ」とは、競技性やゲーム性のある種目（狭義でのスポーツ）にとどまらず、ウォーキング（散歩）やジョギング、レクリエーション、遊びなどの運動をも包括する自発的・自主的な身体活動を意味します。



【「生涯スポーツ」の意味】

生涯スポーツは、「生涯にわたってスポーツと関わる」との意図を表した言葉です。「生涯学習」のスポーツ版と考えて良いでしょう。「生涯学習」は、自己実現や自己成長、地域文化の創造などの意味を持つ学習と理解されています。生涯スポーツは、「地域文化の創造や自己実現、自己成長、さらには地域（人）との交流を目指し、生涯にわたってスポーツと関わること」を意味します。生涯にわたるスポーツへの関わり方は個々のライフステージに応じて異なるため、子どもの体づくり運動も、中高生を始め青少年がおこなう競技スポーツも、子どもと一緒に公園で遊ぶことも、中高齢者が楽しみや健康のためにおこなうスポーツ・運動も生涯スポーツと言えます。さらに、スポーツを「する」ことだけでなく、子どものスポーツ応援やプロスポーツの観戦、スポーツ大会やスポーツイベントの運営（ボランティア活動への従事）も生涯スポーツと言えます。すなわち、「する」スポーツ、「観る」スポーツ、「支える」スポーツすべてが生涯スポーツなのです。

【本ビジョンでの「スポーツ」の捉え方】

本ビジョンでは、「する」・「観る」・「支える」スポーツに関する活動すべてを“スポーツ”と捉えることにします。すなわち、前述した「生涯スポーツ」そのものをスポーツとして広義に捉えることとなります。

“する”スポーツ

スポーツを通して身体能力の限界に挑戦する「競技」
スポーツ（身体活動）を通じた健康・体づくりや気晴らしのための「楽しみ」
子どもと一緒に遊ぶことでの「幸せ」

“観る”スポーツ

スポーツ観戦
子どものスポーツ応援

“支える”スポーツ

スポーツ大会での競技役員
スポーツイベントの運営補助
プロスポーツのサポーター

2. スポーツの意義

スポーツには、体力の維持・増進、生活習慣病の予防・改善、介護予防（認知機能の維持・改善を含む）、抑鬱状態の改善など、身体的および精神的効果がこれまで多くの研究から明らかにされています。

さらに、日頃交流のない人たちでも一緒にスポーツを行った後には、親密感や仲間意識を持つことができます。そのような人間関係（人や地域）のつながりの誕生は、地域コミュニティの復活など地域活性化にもつながっていきます。